

こどもと行こう！祇園祭 2019

コドモト

▶担当：山本安佳里

▶メール：y.akaridesign@gmail.com

事業目的・背景

子どもと一緒にまちの伝統や文化、風習に触れ、五感で感じる場と機会を作り、豊かな感性をはぐくむことで、先人たちの生き方を未来に繋ぐ。1150年続く祇園祭をフィールドにし、見て触れて感じてもらえる体験を通して、今後100年、1000年続く担い手を生み出したいと活動しています。

事業概要

祇園祭を通じて、子どもが京都の文化・伝統に触れられるようなワークショップの企画・運営や、祇園祭期間中に、既存の商店・施設を利用した授乳・おむつ替え・休憩等ができる「こどもステーション」の設置・運営を行っています。

活動期間

2016年12月団体発足。

こども=未来。未来の担い手である子どもたちに、本物・本質という財産を伝え繋げて行くため、心を豊かに育む機会を生み出しています。

2017年より「こどもと行こう！祇園祭」を開始。

成果

2019年度

○ ワークショップ実施

「ちまきってなに？」

ちまき入れ体験(2日間)36名

ちまき授与体験(2日間)31名

「お稚児さんってなに？」(1日)13名

「お神輿ってなに？親子ツアー」(1日)26名の親子に参加いただきました。

○ 「こどもステーション」

7/1~31日の一ヶ月間の期間で計34か所設置。

併せて「こどもステーションマップ」の作成(3,500部)、配布。

○ 小冊子「祇園祭ってなあに？」1,200部発行

今後の予定

祇園祭を運営する山鉾町とのタッチポイントとなり、興味・関心がある親子との繋がりを生む活動をしたい。また、子どもに分かる言葉で『祇園祭ってなあに？』の絵本を作り、保育園や幼稚園での読み聞かせなどを行い、祇園祭を知ってもらう入口となる活動をしたいです。

祇園祭以外の京都のお祭りや文化芸術の場へも活動を広げていきたいと考えています。



「ちまきってなに？」ちまき入れ体験の様子。保存会の方に習いながら、御札や飾り付けを一つ一つ丁寧にを行いました。



ちまき授与体験。実際に作業に関わらせていただいた、厄除けちまきを宵山で授与する体験も親子で行いました。浴衣姿の子ども達の元気な声が鉾町に響き渡りました。



「お神輿ってなに？」親子ツアーの様子。八坂神社の舞殿に鎮座するお神輿を見た後、祇園祭ぎやらりいにて原寸大の鉾を見学。子ども達は上を見上げて、近くで見る鉾の大きさに驚いていました。